

平成28年度 地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告(熊本県人吉市)
 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	
1	スマート林業実践事業 ～川上から川下を繋ぐIoTやG空間を活用した森林SCM(サプライチェーンマネジメント)が支える新たな林業～	地方創生加速化交付金(平成27年度補正)	57,895,612	指標① スマート林業ラボでの研究員雇用(ラボでの助走期間を経て、林業に携わる人材へ)	3	人	平成29年3月	1	地方創生に効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> 人吉の資源を活かした事業内容で、他地域にはない新規性が感じられるため、雇用創出に今後期待できる。 現在途上段階であり、人吉市の主要産業の活性化として、引き続き周知活動が必要。 本事業は、人吉市の地理的環境にマッチした事業であり、重要度の高い事業だと考えます。ただし、解決しなければならない課題も多く、スマート林業の推進には時間がかかるものと思います。単年度で簡単に成果があがる事業ではないため、今年度の達成度の項目で成果が得られなかったとしましたが、研究員の方も一名来ていただくことができ、数年後の成果につながる足掛かりの年になったと思います。 継続した活動が重要と史料します。 必要性は感じるものの、まだ周知が足りないのでは？ ICTや林業の専門家の人に研究員として事業に加わっていただけることを期待します。 アイデアソン・ハッカソンも大変よい取り組みであったと思います。 3Kのイメージが強く、若者に関心が薄い仕事なので、注視していく必要があると思います。 	事業の継続 (計画通りに事業を継続する)
指標② 林業従事者育成・就業プログラムへの参加者(スマート林業ラボ研究員をはじめとした人材がプログラムを受けることで、高度化を図り、林業に携わる人材へ)	5	人	平成29年2月	12								
指標③ 普及啓発イベントへの参加者・協力者(普及啓発イベントを通して、スマート林業ラボや林業へアクセス)	200	人	平成29年3月	72								
指標④ 森林SCM協力協定締結団体数	10	団体	平成29年3月	0								
備考欄 指標④については、平成28年度内の締結には至らなかったが、平成29年11月6日付けで5団体での森林SCM協力協定締結。												
2	くまもと県南ローカルブランディングプロジェクト(食と観光連携事業)	地方創生加速化交付金(平成27年度補正)	476,000	指標① 県南15市町村の地域宿泊観光客数26年+2%	669,191	人	平成28年12月	741,635	地方創生に非常に効果的であった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊が伸びたことはうれしいのだが、震災に対する復興などの支援もあっている中で、事業の成果をみるのは早計な感もあります。 県南15市町村との連携による事業は大変だが効果はあると感じる。 大型クルーズ船の寄港により、外国人観光客数は増加しており効果は大きい。しかしながら、宿泊までは至っていないのが大半であり、観光客＝宿泊客となれば、地方創生にも大きく貢献できるのでないかと史料します。また外国人のプロガー招聘は積極的に行っていきたいと思います。(ムズリム向け招聘等) 県南地域で協力してPRをしていくことは素晴らしい取り組みだと思いました。 	事業の発展 (事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)
備考欄 KPI実績値は熊本県観光統計の数値を使用しているが、同統計は暦年単位での集計のため、計測年月は平成28年12月としている。												
3	スマート林業展開事業 ～川上から川下を繋ぐIoTやG空間を活用した森林SCM(サプライチェーンマネジメント)が支える新たな林業～	地方創生推進交付金(平成28年度当初)	40,197,600	指標① 林業従事者増加数	3	人	平成29年3月	1	地方創生に効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> ITを活用した事業であり、若年層の世代に普及活動を行うことで林業という仕事を知るきっかけにつながっていることに効果を感じる。 これまでの活動をもとにビジネスモデルの普及活動の継続が必要 人吉市全域のレーザ計測が完了とのことで、成果があったと考えます。今後、このデータをどのように活用していくかが、重要な点だと思っておりますので、次年度以降の活動を見守っていききたいと思います。 スマート林業開発をより多くの市民の方々へ知ってもらう機会を更にとって頂きたい。 若年層の林業に関する認知度向上に繋がる普及啓発活動に関しては、いかに継続的な活動ができるかが重要だと思っております。補助金がなくなったあとの事業をどのように継続していくかも検討しておく必要があると思っております。 DVDの内容のホームページ等での公開はできないのでしょうか。特定の学校の生徒だけの事業になるより、人吉市民全体に知ってもらう活動ができた方がよいと思っております。 	事業の継続 (計画通りに事業を継続する)
指標② スマート林業ラボからの人材輩出数	5	人	平成29年3月	12								
指標③ 森林SCM協力協定締結団体数	10	団体	平成29年3月	0								
備考欄 指標③については、平成28年度内の締結には至らなかったが、平成29年11月6日付けで5団体での森林SCM協力協定締結。												
4	人吉賑わい創出事業 ～「訪れたいまち」から「住みたいまち」を目指して～	地方創生推進交付金(平成28年度当初)	21,413,034	指標① 潜在人口率(潜在人口/自治体の人口)	1	%	平成29年3月	下記備考欄参照	地方創生に効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> 進学や就職による人口流出は仕方ないが、Uターン等による移住促進事業は、すぐには効果は見えないが、今後必ず効果は期待できると思う。 移住・定住が創生には不可欠。継続した活動・宣伝が重要と史料。 今年度は、調査段階であったため、大きな成果は得られなかったが、次年度につながる成果は得られたと考えます。 転勤で転入してくる人が減ってきていますが、第二の故郷と思ってもらえる施策(住みやすいセミナーなど)を行い、今から10年後、20年後の再住についての種まきを行ってはどうでしょうか？ 高校卒業の転出率9割は大学等の関係でやむを得ない部分もあるが、企業側の採用時期を早めるのは可能ではないか。全国就職活動時期に合わせた採用を人吉市内の企業に期待したい。 人吉の歴史遺産、鉄道等の魅力は十分であり、いかに宣伝をしていくかが課題では？ この事業は重要だと思っております。中長期に考えると、地域の町村との連携、人吉球磨全体で考えていく事ではないかと思っております。人吉市が中心となり、周りを巻き込んでいく必要だろうと思っております。 困難な事業と思うが、必要性は高い。 人吉市移住定住アイデアソンも面白いイベントだったと思います。ただし、日程の間だけの取り組みのようにも感じられました。出たアイデアのブラッシュアップや利用、参加したメンバの継続的なつながりによる新たなアイデアの創出などがはかれれば、より、移住定住につながる催しになると思っております。 	事業の継続 (計画通りに事業を継続する)
指標② 移住・定住者数	5	人	平成29年3月	3								
指標③ 人口増減数(平成27年度末人口を基準としたときの次年度以降の年度末人口数)	100	人	平成29年3月	-342								
備考欄 指標①(潜在人口率)はRESASより抽出している。RESASH28年度開発2次リリース(H29.2)に伴うデータ入替により、当初値(入替前)と実績値(入替後)データの出典元およびデータ抽出条件が変更され比較ができない。そのため実績値については、入替後のRESASデータから抽出可能な数値をもとに積算したいが、RESAS上、まだH29.3時点のデータが反映されていないため空欄としている。 「実績値(増分)=実績値(H29.3)-当初値(H28.3)」、なお入替後データでの当初値は116%(H28.3)で、入替後データでの実績値(H29.3)がRESASで未公表。公表時期は未定。												

事業名		スマート林業実践事業 ～川上から川下を繋ぐIoTやG空間を活用した森林SCM(サプライチェーンマネジメント)が支える新たな林業～						
総合戦略における位置付け	基本目標 1	目標	名称		名称		名称	
			1 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	ア)地域の産業振興を担う人材育成の強化 ウ)地域の農林水資源、観光資源を活用した新たな地域産業の充実強化 エ)ICTや地理空間等、次世代技術を活用した新たな産業基盤の確立	主要取組	①地場産業を担う即戦力となる人材の育成に向けた取組の推進 ②地域資源を活用した商品開発・農林水産業の6次産業化に向けた取組の推進 ③地域資源とICTや地理空間といった先進技術を活かした「しごと創り」プロジェクトの実施		

事業の内容

2	目的(何のために)	<p>林業の集積が進む本市において当該事業を先駆的かつ戦略的に実施することで、日本各地に存在し国土の約6割を占める森林資源を中心とした地域経済の好循環と、若い世代や世界に対し発信できる「スマート林業」の確立を行い、地方創生に掲げる「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼ぶ、持続可能な「まち」の形成を目指すことを目的としており、平成26年度地方創生先行型上乗せ交付金(タイプI)を受けて実施した「スマート林業構築事業」の成果を活用し、「スマート林業実践事業」を行うもの。</p> <p>(1)必要となる関連情報の整備・クラウド化 (平常時は林業といった地域産業活動に活用。非常時は防災対策として活用。) (2)森林SCMを構築する関係者を中心に生産性向上を図る自動施業ロボットの開発及び生産現場での導入を図ること等の普及・啓発 (3)スマート林業人材育成・就業プログラムの実施 (4)スマート林業を実践するための拠点「スマート林業ラボ」の形成 (5)スマート林業を始めとした新たな切り口での起業・創業支援</p>	4	実績額(円)	57,895,612	
	事業の概要	<p>下記実施項目を外部委託及び直接実施</p> <p>(1)対象地域の森林を、レーザー計測等により資源量把握を行い、その成果をクラウドシステム(平常時は林業といった地域産業活動に活用。非常時は防災対策として活用。)上で管理、共有化する。 ○人吉市南東部の森林を、レーザー計測により5,400ha程度の計測を行った。また、森林資源情報の解析を行い、森林クラウドへ搭載可能な汎用データの整理を行った。 ○レーザー計測で得られたデータを、災害時に防災対策に活用するため、防災システムへのデータの登載や情報共有の強化を図った。</p> <p>(2)スマート林業プロジェクト実施のための普及・啓発活動、地域でのスマート林業体験ツアー等の企画・実施 ○スマート林業の取り組みを市民に広くPRし、木とふれあう機会を創出するため、林業フェアを平成28年11月12日(土)・13日(日)に実施した。 ○スマート林業プロジェクトや関連技術の普及啓発に向けて、林業を主要なテーマとした新たなアイデアやG空間情報技術といった近未来技術との融合を図るためのイベント「アイデアソン・ハッカソン」を平成28年12月17日(土)・18日(日)に開催した。 ○林業をはじめとした働く場の情報や、生活に関する情報、さらには本市の魅力の発信するため、移住定住サイトを開設した。</p> <p>(3)タイプI事業で構築した人材育成・就業プログラムをスマート林業ラボ研究員を中心に実施する。 スマート林業を実践する上では、ICTやG空間情報に関連する多様な知識や技術を習得した人材が不可欠である。そこで、人材育成プログラムにおいては、主体的にICT等の技術を活用してスマート林業を実践する人材を育成する研修を平成29年3月9日(木)・10日(金)に開催した。</p> <p>(4)スマート林業を実践していく拠点として「スマート林業ラボ」を開設(拠点形成、ラボ研究員の誘致)。 スマート林業ラボは、任意団体「人吉地域スマート林業ラボ協議会」として平成29年1月12日に設立した。会員はスマート林業調査検討委員会委員の14名とした。ラボ研究員の募集を行い3名の募集依頼から1名を平成29年3月1日から採用した。</p> <p>(5)スマート林業といった新たな起業・創業支援のための専門相談員を招致し、スマート林業ラボ研究員や地域事業者に対し、サポート体制を揃える。 ワークショップでは外部の方を招いたり、スマート林業検討委員会においては国内視察を兼ねた意見交換会を実施した。これらで、得たネットワークを通じて起業創業に活用していく。 ・ワークショップ:4回開催(平成28年11月17日(木)、12月6日(火)、12月18日(日)、3月16日(木)) ・国内視察:那賀町、ルーチェサーチ(平成28年11月28日(月)から29日(火))</p>		重要業績評価指数(KPI)	指標①	目標
3		事業内容(手段、手法など)	<p>地方創生に非常に効果があった</p> <p>地方創生に相当程度効果があった</p> <p>地方創生に効果があった</p> <p>地方創生に効果がなかった</p>	判定	<p>今後の取組方針</p> <p>事業の継続 (計画通りに事業を継続する)</p>	
	<p>委員からの意見・要望</p> <p><達成度> □大きな成果が得られた ■概ね成果が得られた □成果が得られなかった <方向性> ■増加する方向にある □現状と変わらない □減少する方向にある <必要性> ■必要性が高い □必要性が認められる □必要性が低い、ない <有効性> ■総合戦略に有効であった □概ね有効であった □有効性が低い、ない</p> <p><その他自由意見> ・人吉の資源を活かした事業内容で、他地域にはない新規性が感じられるため、雇用創出に今後期待できる。 ・現在途上段階であり、人吉市の主要産業の活性化として、引き続き周知活動が必要。 ・本事業は、人吉市の地理的環境にマッチした事業であり、重要度の高い事業だと考えます。ただし、解決しなければならない課題も多く、スマート林業の推進には時間がかかるものと思います。単年度で簡単に成果があがる事業ではないため、今年度の達成度の項目で成果が得られなかったとしましたが、研究員の方も一名来ていただくことができ、数年後の成果につながる足掛かりの年になったと思います。 ・継続した活動が重要と史料します。 ・必要性は感じるものの、まだ周知が足りないのでは？ ・ICTや林業の専門家の人に研究員として事業に加わっていただけることを期待します。アイデアソン・ハッカソンも大変よい取り組みであったと思います。 ・3Kのイメージが強く、若者に関心が薄い仕事なので、注視していく必要があると思います。</p>					

事業名		スマート林業展開事業 ～川上から川下を繋ぐIoTやG空間を活用した森林SCM(サプライチェーンマネジメント)が支える新たな林業～						
1	総合戦略における位置付け	基本目標 1	目標	名称	施策	名称	主要取組	名称
				1 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する		ア)地域の産業振興を担う人材育成の強化		①地場産業を担う即戦力となる人材の育成に向けた取組の推進
						ウ)地域の農林水資源、観光資源を活用した新たな地域産業の充実強化		②地域資源を活用した商品開発・農林水産業の6次産業化に向けた取組の推進
						エ)ICTや地理空間等、次世代技術を活用した新たな産業基盤の確立		①地域資源とICTや地理空間といった先進技術を活かした「しごと創り」プロジェクトの実施

事業の内容

2	目的(何のために)	<p>林業の集積が進む本市において当該事業を先駆的かつ戦略的に実施することで、日本各地に存在し国土の約6割を占める森林資源を中心とした地域経済の好循環と、若い世代や世界に対し発信できる「スマート林業」の確立を行い、地方創生に掲げる「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼ぶ、持続可能な「まち」の形成を目指すことを目的としており、平成26年度地方創生先行型上乗せ交付金(タイプI)を受けて実施した「スマート林業構築事業」の成果を活用し、地域連携推進のため「スマート林業展開事業」を行うもの。</p> <p>(1)必要となる関連情報の整備・クラウド化並びに附属システムを構築し、管理、共有(平常時は林業といった地域産業活動に活用。非常時は防災対策として活用。)</p> <p>(2)スマート林業プロジェクト実施のための林業認知度向上のための普及啓発</p> <p>(3)スマート林業普及に向けた開発等を検証</p>	4	実績額(円)	40,197,600		
	事業の概要	指標①		目標	3人		
林業従事者増加数		実績	1人				
指標②		目標	5人				
スマート林業ラボからの人材輩出数		実績	12人				
指標③		目標	10団体				
森林SCM協力協定締結団体数		実績	0団体				
3	事業内容(手段、手法など)	<p>下記実施項目を外部委託及び直接実施</p> <p>(1)対象地域の森林を、レーザー計測等により資源量把握を行い、その成果をクラウドシステム並びに附属システムを構築(平常時は林業といった地域産業活動に活用。非常時は防災対策として活用。)し、管理、共有する。 ○人吉市北西部の森林を、レーザー計測により6,400ha程度の計測を行った。また、森林資源情報の解析を行い、森林クラウドへ搭載可能な汎用データの整理を行った。これで人吉市全域のレーザー計測が完了した。今後は、その成果をクラウドシステム並びに附属システムを構築(平常時は林業といった地域産業活動に活用。非常時は防災対策として活用。)し、管理、共有していく。 ○人吉市全域のレーザー計測データを活用し、災害時に避難の支援が必要となる方の支援計画等作成のためのシステムを構築した。</p> <p>(2)一般、特に若年層の林業に関する認知度向上に繋がる普及啓発活動を継続的に実施し、スマート林業を推進する土壌を醸成する。林業に関する認知度向上につながる普及啓発活動を下記のとおり実施した。また、林業を学べる副読本(1,000冊)とDVD(65本)を作成し、小学校6校と中学校3校と高校1校に配布した。 ○小学生向けイベント・・・3校 人吉市立東小学校:50名、大畑小学校:22名、中原小学校:100名 ○中学生向けイベント・・・2校 第一中学校:300名、第二中学校:140名 ○高校生向けイベント・・・1校 球磨工業高校:420名 ○一般向けイベント・・・20名 ○林業関係者向けイベント・・・40名 マルカ林業株式会社 新永智士氏を招聘し「林業事業者経営とICT活用に向けた課題」で講演。</p> <p>(3)スマート林業プロジェクトを展開するにあたり、その範囲の拡大または多様化する関係者へのビジネスモデルの普及啓発、ブラッシュアップを行いビジネスモデルの深化を図る。また、関連する技術やサービスの開発に向けた普及啓発を進め、新たな技術等の先駆活用、具現化を検証する。 スマート林業構築業務において提案されたビジネスモデルを、本年度は人吉・球磨の林業の特性を踏まえ、具体実行、展開に向けた検討を行った。ハッカソンで発案されたツールの中で、調査検討委員会が実現性が高いと判断したツールについては、事業性、ニーズを調査し、具現化に向けた導入計画を検討した。</p>	事業の概要	項目	判定	今後の取組方針	
		地方創生に非常に効果があった			事業の継続 (計画通りに事業を継続する)		
		地方創生に相当程度効果があった					
		地方創生に効果があった		○			
		地方創生に効果がなかった					
		委員からの意見・要望					
<p>＜達成度＞ ■大きな成果が得られた □概ね成果が得られた □成果が得られなかった</p> <p>＜方向性＞ ■増加する方向にある □現状と変わらない □減少する方向にある</p> <p>＜必要性＞ ■必要性が高い □必要性が認められる □必要性が低い、ない</p> <p>＜有効性＞ ■総合戦略に有効であった □概ね有効であった □有効性が低い、ない</p> <p>＜その他自由意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITを活用した事業であり、若年層の世代に普及活動を行うことで林業という仕事を知るきっかけにつながっていることに効果を感じる。 ・これまでの活動をもとにビジネスモデルの普及活動の継続が必要 ・人吉市全域のレーザー計測が完了とのことで、成果があったと考えます。今後、このデータをどのように活用していくかが、重要な点だと思っておりますので、次年度以降の活動を見守っていきたく思います。 ・スマート林業開発をより多くの市民の方々へ知ってもらう機会を更に作って頂きたい。 ・若年層の林業に関する認知度向上に繋がる普及啓発活動に関しては、いかに継続的な活動ができるかが重要だと思っております。補助金がなくなったあとの事業をどのように継続していくかも検討しておく必要があると思っております。 ・DVDの内容のホームページ等での公開はできないのでしょうか。特定の学校の生徒だけの事業になるより、人吉市民全体に知ってもらう活動ができた方がよいと思っております。 							

事業名		人吉賑わい創出事業 ～「訪れたいまち」から「住みたいまち」を目指して～					
1	総合戦略における位置付け	基本目標 1・2	目標	名称	名称	名称	主要な事務事業
				1 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	ウ)地域の農林水資源、観光資源を活用した新たな地域産業の充実強化	①広域観光連携プロモーション活動の実施	
				2 本市への新しいひとの流れをつくる	ア)人吉球磨の日本遺産を中心とした観光振興と交流促進	①人吉球磨の日本遺産を中心とした景観・文化振興戦略及びニューツーリズムの戦略の構築・展開 ②人吉球磨の日本遺産をはじめとした観光資源の磨き上げと観光地等の情報収集・発信機能の強化	

事業の内容

2	目的(何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の中から、特に高い集客効果や他地域にはない強みを持っている「鉄道関連資産」のブランド化に向けた取組を進める。 ・本事業で行う各種プロモーション等に合わせ、本市から「人吉の元気」「熊本の元気」を発信することで、熊本地震からの復興を目指す。 ・切れ目の無い「交流人口増加施策」「定住人口増加施策」を展開することで、「賑わい」があり「住みたい」まちづくりの実現を目指す。 	4	実績額(円)	21,413,034		
	事業内容(手段、手法など)	<p>○事業名 『人吉賑わい創出事業』</p> <p>○目的 「交流及び定住人口増加施策」の展開により本市への「ひと」の流れを創出すると共に、本市が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる重要業績成果指標(KPI)の達成を目的とする。</p> <p>○手段 業務の実施に当たり、民間事業者の有する技術等を活用し、本業務を円滑に遂行することを目的として、各提案事業者の業務遂行に関しての知見、技術、経験等を見極め、本業務に最も適した事業者を選定するため、委託事業者を公募型プロポーザル方式で公募。</p> <p>○業務内容 (1)移住定住に係るビジョン策定に向けた調査 「しごと×ひと×まち」の観点から既存関連統計資料の収集や分析、人吉球磨郡市内の各業界団体や高校への雇用、就職状況に関するヒアリングなどによる調査報告書を作成。</p> <p>(2)移住定住施策推進に係る検討会 調査結果をベースに、戦略まとめの方向性について市役所関係課の課長、係長級職員と協議。</p> <p>(3)移住定住施策等に関する勉強会 高校卒業時の地域(人吉球磨)外転率9割という調査結果を踏まえ、若者を高卒後も地域に残すことをテーマにした勉強会を企画。「高校魅力化プロジェクト」「マーケティングによる若者の雇用創出」「六次産業化」をテーマに、それぞれ専門的な知識や経験を持つ講師を招き、地元関係者を対象とした勉強会を開催。</p> <p>(4)普及啓発事業 若者のUターンによる定住人口拡大を実現するためのアイデア、ビジネスの提案をテーマにした「人吉市移住定住アイデアソン」と開催。 人吉市民、市外在住出身者、出身者以外の市外在住者など25名の参加者が5名毎のグループに分かれ、1日目の市内視察と2日目のアイデアソンを通じてアイデアを競い合う。</p> <p>(5)企画展の開催 100年以上の歴史を持つJR肥薩線の文化遺産としての価値を伝えることを目的として、「100年レイル肥薩線」企画展vol.1 明治の文献から見る肥薩線の歩み」と題した企画展を開催(H28.12～H29.3)。明治時代の肥薩線に関する文献を展示し地域内外に肥薩線の魅力を発信した。</p> <p>(6)外国人観光客受入体制の構築 人吉鉄道ミュージアムを訪れる外国人観光客への対応として音声翻訳機(多機能タブレット)を5台導入。館内の案内のみならず、市内観光に関する情報提供が円滑にできるようになった。</p> <p>(7)人吉鉄道ミュージアムの管理運営 本市観光の窓口を担っている一般社団法人 人吉温泉観光協会に、本市の観光拠点である人吉鉄道ミュージアムの管理運営を委託することで、運営業務と同時に観光客からの問合せ等に対して迅速で的確な対応が可能となった。</p>	重要業績評価指数(KPI)	指標①	指標②	指標③	
3	事業の概要		滞人口率(滞人口/自治体の人口)	指標①	指標②	指標③	指標④
			移住・定住者数	指標②	指標③	指標④	指標⑤
			人口増減数(平成27年度末人口を基準としたときの次年度以降の年度末人口数)	指標③	指標④	指標⑤	指標⑥
				指標④	指標⑤	指標⑥	指標⑦
				指標⑤	指標⑥	指標⑦	指標⑧
				指標⑥	指標⑦	指標⑧	指標⑨
				指標⑦	指標⑧	指標⑨	指標⑩
				指標⑧	指標⑨	指標⑩	指標⑪
				指標⑨	指標⑩	指標⑪	指標⑫
				指標⑩	指標⑪	指標⑫	指標⑬
				指標⑪	指標⑫	指標⑬	指標⑭
				指標⑫	指標⑬	指標⑭	指標⑮
				指標⑬	指標⑭	指標⑮	指標⑯
				指標⑭	指標⑮	指標⑯	指標⑰
				指標⑮	指標⑯	指標⑰	指標⑱
				指標⑯	指標⑰	指標⑱	指標⑲
				指標⑰	指標⑱	指標⑲	指標⑳
				指標⑱	指標⑲	指標⑲	指標㉑
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㉒
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㉓
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㉔
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㉕
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㉖
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㉗
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㉘
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㉙
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㉚
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㉛
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㉜
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㉝
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㉞
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㉟
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊱
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊲
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊳
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊴
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊵
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊶
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊷
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊸
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊹
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊺
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊻
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊼
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊽
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊾
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標㊿
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標1
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標2
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標3
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標4
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標5
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標6
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標7
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標8
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標9
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標10
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標11
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標12
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標13
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標14
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標15
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標16
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標17
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標18
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標19
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標20
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標21
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標22
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標23
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標24
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標25
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標26
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標27
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標28
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標29
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標30
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標31
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標32
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標33
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標34
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標35
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標36
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標37
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標38
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標39
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標40
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標41
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標42
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標43
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標44
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標45
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標46
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標47
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標48
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標49
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標50
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標51
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標52
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標53
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標54
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標55
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標56
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標57
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標58
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標59
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標60
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標61
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標62
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標63
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標64
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標65
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標66
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標67
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標68
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標69
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標70
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標71
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標72
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標73
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標74
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標75
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標76
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標77
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標78
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標79
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標80
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標81
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標82
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標83
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標84
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標85
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標86
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標87
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標88
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標89
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標90
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標91
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標92
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標93
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標94
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標95
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標96
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標97
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標98
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標99
				指標⑲	指標⑲	指標⑲	指標100